

第2学年生活科帰りのしたくのじゅんばんを見なおそう B

実践概要

帰りの支度の仕方を素材として、プログラミングによって不要な行動の見直しと行動の順序の入れ替えを行い、現状を振り返りつつよりよい日常生活を送る意識を高めるようにする。

使用教材（製品名）・ICT環境（OS名等）

「ルビィのぼうけん」（翔泳社）
 「ジャストスマイル8」JUST SYSTEM
 「タブレットPC」NEC

本時の流れ

	主な学習活動	指導上の留意点・評価内容等
導入	<ul style="list-style-type: none"> ●「ルビィのぼうけん」の読み聞かせを聞く。 ●アクティビティに取り組む。（ルビィのぼうけん 練習20：デバッグ「こまったこと」） ●帰りの支度に時間がかかっていることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○プログラミングに関係する学習だと意識付ける。 ◎デバッグについて理解している。 ○定点カメラで撮影した帰りの支度の様子を見せたり、支度にかかった時間を提示したりして、支度の仕方に課題があることを理解させる。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ●本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">帰りのしたくのじゅんばんを見なおそう。</div> ●帰りの支度でしている行動を出し合う。 ●タブレットを操作して、各行動を必要なことと不必要なことに分けたり、効率のよい順番に並び替えたりする。 ●グループで内容を見直し、忘れていないか、もっといい順番はないか話し合う。 ●プログラミングで組んだ順番で、実際に帰りの支度をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童のタブレットに各行動を記したカードを配り、順番を意識してペアで相談しながら並び替えをさせる。 ○ペアで考えた内容をグループで紹介し合いながら検討させ、助言を受けて組み替えたり付け加えたりさせる。 ◎帰りの支度の手順を見直し、よりよい手順を考えている。 ◎一連の行動を分解し、よりよい手順に再構築している。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●本時の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りを行い、よりよい順序で行動することのよさに気付かせる。

ここに注目！（本事例のポイント）



← 展開で配布した
行動を記したカード

児童が組んだプログラムの一例を取り上げ、そのよさについて全体で共有した。どのような理由で、この組み合わせや順番になったのかを、根拠をもとに説明させ、全体で試行錯誤しながらプログラムをつくり上げることができた。

展開の最後には、児童が組んだプログラムに沿って帰りの支度を実行した。どのペアも、支度の時間を大幅に短縮することができていた。帰りの支度という一連の行動を分解し、よりよい順番に再構築し、実際の行動に移すことができた。